

平成29年12月8日

(特非)日本フロアホッケー連盟
加盟支部 会長 様
フロアホッケーチーム関係者 様

特定非営利活動法人日本フロアホッケー連盟
理事長 細川 佳代子

スティックの安全管理について(通知)

師走の候、貴台におかれましてはますますご健勝のことと拝察します。

平素から本連盟の諸活動にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、過日開催された第7回ユニバーサルフロアホッケー九州大会において、ゲーム中に長野コロニー製のスティックが折れる事案が2件ありました。その破断面は鋭利であり、安全管理面からアスリートのケガ等の危険性が指摘されるものです。

については、大至急貴団体等が保有・管理するスティックについて調査・確認し、ひび等が入っているスティックは破棄をするとともに、下記を参考に長野コロニー製のスティックの場合は、粘着性のテープを巻いて使用することとし、関係者にも注意を喚起し、事故防止を徹底願います。

なお、テープを巻いたスティックの使用はルール上問題がないことを申し添えます。

特に、近日中に体験会、大会等を開催する場合には、本通知による対応を徹底し、事故が起らないように対応をお願いいたします。

記

1 破損したスティックについて

①長野コロニー製のスティックは、推定90%以上の競技者が使用しています。

②スティックは木材製品のため、過去に購入した製品も経年劣化で、強度が保たれない可能性があります。

2 対応

①長野コロニー製スティックについては、練習やゲーム中、もし折れても破断面積を少なくして破断時の事故を防止するために、下の写真のように養生テープ等の粘着性テープを1m程度スティックに巻いて補強してください。

②テープはホームセンター等の市販品でよいので、所属チーム等で購入願います。

③長野コロニー製のテープを巻かないスティックは、今後、練習・大会を問わず使用をしないように徹底をお願いします。

【参考写真】

写真1



写真2



写真3



①写真1・スティックの先端部から1m程度、養生テープ等の粘着性テープを巻く。

②写真2・テープ幅は一般に5cmで、①だけでは全面を覆えないので、①と同様に巻いてスティック面がすべてカバーできるようにする。

③写真3・空気が残らないように丁寧に巻き付けて完成。(補強時間:1本1~2分)